



(讀者記者)

島原半島生  
記者足下、僕は近頃少し感する所があつたから、其の所感を申送することに致しました。

人は辛抱が第一である、辛抱の強い者は必ず成功する、雨滴が石の上に落ちても、到底石に穴のあきさうには思はれ無いけれど、長ひ月日の内には何時の間にやら石の上に雨滴の跡が付く、人が一藝の達人となりて其の職其の道を以て立身出世するものが、受持の仕事や自分の本務に對し之と同様である「蝸牛<sup>カタツムリ</sup>逐々<sup>アラシキ</sup>に登るや乍<sup>ハヤシ</sup>の先き」石の上にも三年居れば温か味が出る」と云ふことがある忍耐は成功の基いとは此の理屈から來たものである。

四方山<sup>ヨコヤマ</sup>の景色に迷ふと遂い見當が違ひ折角の辛抱が無になることがあるが、受持の仕事や自分の本務に對し一生懸命に力を入れて働いて居れば何時の間にか成功の芽が萌すのである、康公の訓言にも「人の一生は重荷<sup>カミガサ</sup>を負ふて遠き道を行くが如し、不足なし、心に望み起らば困難<sup>ハラカニ</sup>なる時を思ひ出すべし、勘忍<sup>カンジン</sup>は無事長むるな、及ばざるは過ぎたるよりも優されり」と云ふてあることは「時報」第十四號の三人旅の中でも拜見したが、幾度繰返しても善い訓<sup>マダラク</sup>である。

人格修養などと言ふてイキなりて釋迦様や、孔子様の眞似<sup>マジナリ</sup>をしようと思ふても我々には中々六ヶ敷い、我々に取つて一番早い話は、お互に親切であること、是が最上の人格であることを心得て大なる間違はない、百萬言の聖書の講釋も元を正せば愛は神である、即ち上は下に對し、下は上に對し、先きなる者は後から來た者に對し、後から來た者は先進者に對し互に親切を盡し合つて行きたる。

舶來品は何なんとなく親切に出来て居る。日本製はどうしても不親切であるなうと云はれる様な事のない様に品物に親切を込めて造りたい、仕事に對し愛情を以て働きたい、事業は之に依つて榮へ、我々の名譽も之に依つて進むことが出来る、一片の親切心が集まつて此の全世界を極樂とすることが出来るのである。

人は懶心が起るごとな舞舞である、己は餘程偉らいと云ふ様な氣分になつたら、モ一智慧も力も殖へるものでない、否な眞面目な時に持つてゐた學問や、経験までが却て我が身の害をする様になる、人は如何なる場合に於ても懶心は禁物だ、試みに一例を引ひて見るならば、稻の穂が未だ實の入らない内は、ツンと突立つて居るが、實が熟するに従つて頭が下がる「ヒイラギ」の木の葉には、つんく角があるけれど歲月を積むと段々角がこれで丸くなる、人も之と同じ様に天地自然の大道を真直に渡りさへすれば、自然其の身に德が付き衆人の尊敬を受くることになるのである、たゞ五度くして始めて共団の仕事も出来るのであるから、平素謙遜にして親切なるは、何より大切なる心掛けだと思ひます。

至極最もな御説である、忍耐は事業成功の根本要素で、之を守り通ふ者は遂に成功の冠を戴く者である、又真理は一本の稻の穗の穂にても宿る、何人こそ雖も能く之を玩味して修身の一助と爲さば、其の効果大なること毫も疑を入れざる處である。(記者)

鼻感が發達する者を見た。二階から煙焼の臭氣有り注意すべしとの訴状呼鈴に依つて通達せられる。毎度の事さ。其處で土鍋の蓋を取去ると浦島太郎の玉手箱うれの如く煙がスコロ上る底にはフェジョンが真黒な土鍋のフェジョン同様の運命に沸々と蠢動して居るわい。

二、淫靡柔弱な話題に移ると忽ち表情の異様に輝く御連中の傍には教育あつて誠信なき顔振れ、口角泡を飛ばして嘲罵女難を能事となす。さては鶏の尻の穴の様に開閉自在の痴を見て世態を悲觀する御隠居様達もあれば自称女ゴロさんも鎮座しますごやら。善く云へば福神漬。悪く云ふと寄生樹だが伯國の森に咲くバラジタの様な色も香もなし。かくて土鍋のフェジョンは此の貴重なる時間を空費し、無我太平樂を歌つて居る所體に無病呻吟の遊陪民だね。三、彼等は實社會の要求を知らぬいつがや或青年が代數幾何を忘れたれだけ交渉がある。特殊の理由なき限り此等は正に狂氣の沙汰だわい。近頃流行する測量技師の洋服にもなるが幾何や代數がフェジョンと何を云ふかと思ふと古き履歴を向鉢巻にして野羅丸 same様の生活をして居る輩がある。彼等は不幸にして反抗性のバチルスに取りかかるれ、若し後輩に成金でも出来やうものなら、立つても据つても居られぬ連中で此の見見るに一種の憫情すと厭さへ難き侮蔑の念が湧く。

要するにコンデ町は土鍋の中のフェジョンで、鹏程万里へかしま立ちの者に候が十一月頃より不適脳病に罹り醫師の藥種々用ひ候も一向其効なく困難致居候容體申送候間薬の處

方及養生法御報願上候  
一、最初頭の底が重痛く、右の耳が鳴り脹の打ち音が耳り入り實に氣分悪しく、顔色青くなり、食は平生ども變らざれど身體が次第に瘠せ、折々鼻血が出て一週間前無理に仕事に出で雨に遇ひ熱せる爲更めに激く成只今床に就き居り候（植木増癢）  
○答　此容禮丈けでは血液疾患の様であるが或は他に特別の原因例之十二指腸虫の様なものがて、ろんなになつたのかも知れぬ、兎に角ひとく貧血してゐる様子故應急策として  
Recepta  
Ferrum reductum 0.3gram  
Saccharum lactis 1.0 " "  
Dose para um dia  
Divida em 3 papéis. Munde a dose para 14 dias.

試みに Kali bromat 4- を水に溶かして一日三度に飲んで御覧なさい。尚便通を良くする事、夜更しをしない事、ビンガなどを飲まぬ事、それで驗が無ければ一度良く診て書く必要がある。

●問 私事 昨年九月 雜木伐切 中小枯頭上に落かり長さ四寸計りの傷を致居ましたが二ヶ月位にて全快就業致りましたが先月中旬炎天に致りましたが、頭痛眩晕を初め烟に倒れました其後丁度頭に石でも載せた様な胸の悪い事話になりません、二三度買薬致しましたが一向効果が無くて就寝中は前後を覺へず寝られます何卒良薬が有りますれば紙上にて御願申します(小池四方吉)

○答 薬を用いる必要はありません。大丈夫ですから心配せずに打葉つて置きなさい。斯ふ云て如何にも亂星の様ですが前後の様子を考へて見ると脳の中に損傷の無い事は保證し得る。便通を良くし日常麥羹帽を見たり、森も雲も鉢の如く重々と動きもやん／＼と胸にしみ入る。

白き花の名も知らざれど黄昏の秋！初風草の戸に入る。

静かさの極まる邊り白雲のりどろく山の秋かな。

唐森の穂の穗波さら／＼白をひく映りも近し午後の雨晴れ。

初秋に入る

秋 南 樹 文苑

聖波羅土地木材殖民會社

●當社はチエテ、リチフイユの兩河の間七十キロメートルに渡り數万アルケーレスを有する本州最大の殖民地にして水質良好、氣候溫和なる膏肥の地リチフエユ、及ビリグヒの二部分を廉價にて且つ其拂込方法を容易にして日本人諸君に提供す。

○當社は九百數十家族の各國人土地所有者を有し其の中日本人は二百有餘家族にして現在者百家族何れも入殖後日尙淺きにも不拘著しき成績を挙げつゝあるは今更喋々するを要せず一度視察して偽らず飾らざる絶好殖民地の眞實を知られたし（十月上旬調査）

御用の向きは左記の場所へ御照會ありたし

御用の向ふは左記の場所へ御照會ありたし  
宮崎八郎  
Director-gerente Dr. James Mellor  
Comp. de Terras, Madeiras e Colonização de S. Paulo.  
Birguy.  
LINHA NOROESTE.

御用の向ふは左記の場所へ御照會ありたし  
宮崎八郎  
Director-gerente Dr. James Mellor  
Comp. de Terras, Madeiras e Colonização de S. Paulo.  
Briguy.  
LINHA NOROESTE.

## 國技館燒失回向院も類焼す

▼僅半分間にて大鐵傘焼落つ  
▼損害三百萬圓以上ならん

十一月二十九日午前一時過本所區元町國技館内より俄然發火し折柄北東の風加はりし際て火は漸次猛烈となり見る（鐵骨に組附けたる木造の分は焼け落ちさしもに鐵骨の大建築物にて東京一名物の大鐵傘も約三分に物凄き大音響と共に地上に落下したり其凄愴なる光景名状す）十分にして物凄き大音響と共に地上に落したる木造べからず斯くて火口は南へ轉じて館外なる附屬建物及有名なる回向院も遂に類焼し三時に至り漸く鎮火せり

### 火勢猛烈

▼菊火大會の番人が發見

午前一時卅分國技館（西南部より發火）を目下開催中の菊火大會番人及

消防隊と協力して防火に努めたる者甚しきに火事よ

何分館内はベンキ塗の上に各所に毛脂附居るより忽ち火勢を煽り館内一

面猛火化したり斯る處へ各相模部屋の取扱及び各所の消防夫等漸次數百名も駆せ加はり消防に死力を盡し

附け尙菊花大會の監督を爲し居る年

寄放駒及び根岸理事書も急行し來り

び茶屋の者共が發見し一齊に火事よ

火事よと騒ぎ立たるため附近の者駆

出火當夜宿直として協會事務所なる

國技館（上に睡眼し居り逃げ出さん）として大火傷を負ひたる元國見山事

午前一時卅分國技館（西南部より發火）を目下開催中の菊火大會番人及

消防隊と協力して防火に努めたる者甚しきに火事よ

何分館内はベンキ塗の上に各所に毛脂附居るより忽ち火勢を煽り館内一

面猛火化したり斯る處へ各相模部屋の取扱及び各所の消防夫等漸次數百名も駆せ加はり消防に死力を盡し

附け尙菊花大會の監督を爲し居る年

寄放駒及び根岸理事書も急行し來り

び茶屋の者共が發見し一齊に火事よ

火事よと騒ぎ立たるため附近の者駆

出火當夜宿直として協會事務所なる

國技館（上に睡眼し居り逃げ出さん）として大火傷を負ひたる元國見山事

午前一時卅分國技館（西南部より發火）を目下開催中の菊火大會番人及

消防隊と協力して防火に努めたる者甚しきに火事よ

何分館内はベンキ塗の上に各所に毛脂附居るより忽ち火勢を煽り館内一

面猛火化したり斯る處へ各相模部屋の取扱及び各所の消防夫等漸次數百名も駆せ加はり消防に死力を盡し

附け尙菊花大會の監督を爲し居る年

寄放駒及び根岸理事書も急行し來り

び茶屋の者共が發見し一齊に火事よ

火事よと騒ぎ立たるため附近の者駆

出火當夜宿直として協會事務所なる

國技館（上に睡眼し居り逃げ出さん）として大火傷を負ひたる元國見山事

午前一時卅分國技館（西南部より發火）を目下開催中の菊火大會番人及

消防隊と協力して防火に努めたる者甚しきに火事よ

何分館内はベンキ塗の上に各所に毛脂附居るより忽ち火勢を煽り館内一

面猛火化したり斯る處へ各相模部屋の取扱及び各所の消防夫等漸次數百名も駆せ加はり消防に死力を盡し

附け尙菊花大會の監督を爲し居る年

寄放駒及び根岸理事書も急行し來り

び茶屋の者共が發見し一齊に火事よ

火事よと騒ぎ立たるため附近の者駆

出火當夜宿直として協會事務所なる

國技館（上に睡眼し居り逃げ出さん）として大火傷を負ひたる元國見山事

午前一時卅分國技館（西南部より發火）を目下開催中の菊火大會番人及

消防隊と協力して防火に努めたる者甚しきに火事よ

何分館内はベンキ塗の上に各所に毛脂附居るより忽ち火勢を煽り館内一

面猛火化したり斯る處へ各相模部屋の取扱及び各所の消防夫等漸次數百名も駆せ加はり消防に死力を盡し

附け尙菊花大會の監督を爲し居る年

寄放駒及び根岸理事書も急行し來り

び茶屋の者共が發見し一齊に火事よ

火事よと騒ぎ立たるため附近の者駆

出火當夜宿直として協會事務所なる

國技館（上に睡眼し居り逃げ出さん）として大火傷を負ひたる元國見山事

午前一時卅分國技館（西南部より發火）を目下開催中の菊火大會番人及

消防隊と協力して防火に努めたる者甚しきに火事よ

何分館内はベンキ塗の上に各所に毛脂附居るより忽ち火勢を煽り館内一

面猛火化したり斯る處へ各相模部屋の取扱及び各所の消防夫等漸次數百名も駆せ加はり消防に死力を盡し

附け尙菊花大會の監督を爲し居る年

寄放駒及び根岸理事書も急行し來り

び茶屋の者共が發見し一齊に火事よ

火事よと騒ぎ立たるため附近の者駆

出火當夜宿直として協會事務所なる

國技館（上に睡眼し居り逃げ出さん）として大火傷を負ひたる元國見山事

午前一時卅分國技館（西南部より發火）を目下開催中の菊火大會番人及

消防隊と協力して防火に努めたる者甚しきに火事よ

何分館内はベンキ塗の上に各所に毛脂附居るより忽ち火勢を煽り館内一

面猛火化したり斯る處へ各相模部屋の取扱及び各所の消防夫等漸次數百名も駆せ加はり消防に死力を盡し

附け尙菊花大會の監督を爲し居る年

寄放駒及び根岸理事書も急行し來り

び茶屋の者共が發見し一齊に火事よ

火事よと騒ぎ立たるため附近の者駆

出火當夜宿直として協會事務所なる

國技館（上に睡眼し居り逃げ出さん）として大火傷を負ひたる元國見山事

午前一時卅分國技館（西南部より發火）を目下開催中の菊火大會番人及

消防隊と協力して防火に努めたる者甚しきに火事よ

何分館内はベンキ塗の上に各所に毛脂附居るより忽ち火勢を煽り館内一

面猛火化したり斯る處へ各相模部屋の取扱及び各所の消防夫等漸次數百名も駆せ加はり消防に死力を盡し

附け尙菊花大會の監督を爲し居る年

寄放駒及び根岸理事書も急行し來り

び茶屋の者共が發見し一齊に火事よ

火事よと騒ぎ立たるため附近の者駆

出火當夜宿直として協會事務所なる

國技館（上に睡眼し居り逃げ出さん）として大火傷を負ひたる元國見山事

午前一時卅分國技館（西南部より發火）を目下開催中の菊火大會番人及

消防隊と協力して防火に努めたる者甚しきに火事よ

何分館内はベンキ塗の上に各所に毛脂附居るより忽ち火勢を煽り館内一

面猛火化したり斯る處へ各相模部屋の取扱及び各所の消防夫等漸次數百名も駆せ加はり消防に死力を盡し

附け尙菊花大會の監督を爲し居る年

寄放駒及び根岸理事書も急行し來り

び茶屋の者共が發見し一齊に火事よ

火事よと騒ぎ立たるため附近の者駆

出火當夜宿直として協會事務所なる

國技館（上に睡眼し居り逃げ出さん）として大火傷を負ひたる元國見山事

午前一時卅分國技館（西南部より發火）を目下開催中の菊火大會番人及

消防隊と協力して防火に努めたる者甚しきに火事よ

何分館内はベンキ塗の上に各所に毛脂附居るより忽ち火勢を煽り館内一

面猛火化したり斯る處へ各相模部屋の取扱及び各所の消防夫等漸次數百名も駆せ加はり消防に死力を盡し

附け尙菊花大會の監督を爲し居る年

寄放駒及び根岸理事書も急行し來り

び茶屋の者共が發見し一齊に火事よ

火事よと騒ぎ立たるため附近の者駆

出火當夜宿直として協會事務所なる

國技館（上に睡眼し居り逃げ出さん）として大火傷を負ひたる元國見山事

午前一時卅分國技館（西南部より發火）を目下開催中の菊火大會番人及

消防隊と協力して防火に努めたる者甚しきに火事よ

何分館内はベンキ塗の上に各所に毛脂附居るより忽ち火勢を煽り館内一

面猛火化したり斯る處へ各相模部屋の取扱及び各所の消防夫等漸次數百名も駆せ加はり消防に死力を盡し

附け尙菊花大會の監督を爲し居る年

寄放駒及び根岸理事書も急行し來り

び茶屋の者共が發見し一齊に火事よ

火事よと騒ぎ立たるため附近の者駆

出火當夜宿直として協會事務所なる

國技館（上に睡眼し居り逃げ出さん）として大火傷を負ひたる元國見山事

午前一時卅分國技館（西南部より發火）を目下開催中の菊火大會番人及

消防隊と協力して防火に努めたる者甚しきに火事よ

何分館内はベンキ塗の上に各所に毛脂附居るより忽ち火勢を煽り館内一

面猛火化したり斯る處へ各相模部屋の取扱及び各所の消防夫等漸次數百名も駆せ加はり消防に死力を盡し

附け尙菊花大會の監督を爲し居る年

寄放駒及び根岸理事書も急行し來り

び茶屋の者共が發見し一齊に火事よ

火事よと騒ぎ立たるため附近の者駆

出火當夜宿直として協會事務所なる

國技館（上に睡眼し居り逃げ出さん）として大火傷を負ひたる元國見山事

午前一時卅分國技館（西南部より發火）を目下開催中の菊火大會番人及

消防隊と協力して防火に努めたる者甚しきに火事よ

何分館内はベンキ塗の上に各所に毛脂附居るより忽ち火勢を煽り館内一

面猛火化したり斯る處へ各相模部屋の取扱及び各所の消防夫等漸次數百名も駆せ加はり消防に死力を盡し

附け尙菊花大會の監督を爲し居る年

寄放駒及び根岸理事書も急行し來り

び茶屋の者共が發見し一齊に火事よ

火事よと騒ぎ立たるため附近の者駆

出火當





